

# 生きづらさを 抱えたお子さんを お持ちの ご家族の方へ



2024.10.19 (土)



講演：13:00 ※開場12:30  
質疑応答：15:00～16:30 \*参加無料\*  
場所：豊科公民館 2階大会議室

発達障害などの生きづらさを抱えたところに、統合失調症などの二次障がいが発症する場合があります。思春期は、そういったリスクが高まる時期でもあり、不登校、引きこもりへとつながっていく傾向も見られます。そのような子どもにとって、身近にいる家族の対応が大切になってきます。親は、どうかしなければとの思いから、子どもに良かれと懸命になりますが、それがさらに子どもを追い詰めてしまうこともあります。

生きづらさを抱えた子どもに、家族はどう向き合い対応していけばよいか。子どもの気持ちを理解し、相手の気持ちを聞き出すにはどうしたらよいか? 「風通しの良いコミュニケーションとは」を高森信子先生から学びます。

## 講師紹介

### 高森信子

1989年より各地の家族会、デイケア、作業所などで各地SSTリーダーとして活躍。90歳の現在も精神疾患を持つご本人やご家族を対象に、再発防止や生活の質の向上をテーマに全国で講演を続けています。

「あなたの力が家族を変える」「まんがでわかる統合失調症」

「心病む人のための高森流コミュニケーションQ&A」など 他著書多数。

主催：三郷にに八 家族会 共催：安曇野市  
後援：安曇野市教育委員会 NPO長野県精神保健福祉会連合会（長野かれん）  
問合せ：☎ 090-9664-7361（三郷にに八 家族会事務局）

\*本事業は安曇野市「令和6年度障害者福祉団体活動補助金」を活用した活動です。